

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

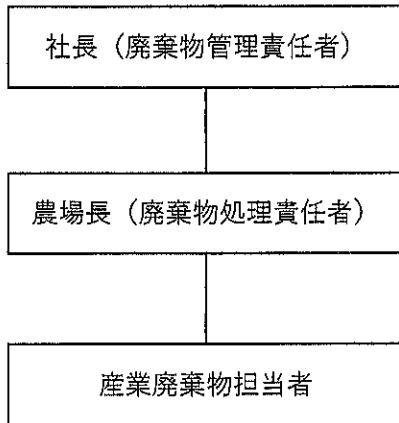
産業廃棄物処理計画書	
令和7年4月17日	
岩手県知事 達増 拓也 様	
提出者 岩手県九戸郡軽米町大字上館30-232	
住 所 北栄農産有限会社	
氏 名 代表取締役 小林福正	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0195(45)3313	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	林郷ファーム
事業場の所在地	岩手県九戸郡洋野町大野34-66-722
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	養豚業
② 事業の規模	母豚200頭
③ 従業員数	3名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	糞 — 発酵処理（委託）— 堆肥化（委託）— 売却（委託） 尿 — 排水処理（委託）— RO膜処理（委託）— 蒸散処理（委託） 活性汚泥法 排水処理（自己）— 処理水— 再生利用（洗浄）

（日本工業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排出量	2250 t	t
	（これまでに実施した取組） ふんに水分が入らないように管理 尿に固形物が入らないように管理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排出量	2680 t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記事項の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） なし
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和 6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1,126 t	t
	(これまでに実施した取組) 浄化槽を設置し、処理水を洗浄に再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	1,150 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記事項の継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和 6 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	1,124 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1124 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従い、適切に処理されるように定期的に処理状況を確認している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	1,100 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,100 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 定期的な処理状況の確認の継続		
※事務処理欄			